

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成の報告がありました。

第 7 回 議会改革推進特別委員会

平成 26 年 5 月 20 日 (火)

12 時 58 分～14 時 26 分

第 4 委 員 会 室

- 【出席者】 江角委員長、平石副委員長
足立委員、小川委員、森谷委員、野藤委員、飛野委員、岡本委員、
佐々木委員、道下委員、西田委員、西村委員、牛尾昭委員
- 【議長団】 原田議長、澁谷副議長
- 【委員外議員】 柳楽議員
- 【事務局】 三浦局長、小川書記、外浦書記

議 題

- 1 政務活動費の使途を議会だよりで公開
議会だよりで何らかの形で公開なり、ホームページへ誘導してもらうような内容を含めて広報広聴委員会で検討してもらうこととする。
- 2 市議会ホームページの充実
現状を鑑み、問題があれば、広報広聴で議論していきながら改良を図る。
- 3 議会だよりの充実
ページ数を増やしてでも、多くの内容が報告出来たり、詳しく報告が出来たり、具体的には広報広聴で検討されたい。
- 4 議員控室等の充実と活用
局長室のパソコンの取替え、打合せ等での議長応接室の活用など。
将来的に、控室での資料作成、また個人での IT 機器の使用などが可能となるような環境整備を検討する。
- 5 IT化の推進
タブレットの活用ということで推進を図っていくということで、執行部にも投げかけていく。視察、勉強は、日程調整を行う。(美郷町、出雲市)。

- 6 質問等の「発言通告書」の提出を、FAX・メールでも可能に
現在の申し合わせ事項にある提出方法を再度確認し、6月定例会以降協議を行う。
現行の通告書は扱いにくいということから、
様式は自由とする。(但しMSゴシックの12ポイント)

- 7 その他
行政視察行程の確認

【議事の経過】

(開議 12時 58分)

江角委員長

ただいまから議会改革推進特別委員会を開催したいと思います。まず冒頭に報告させていただきます。5月13日に京都府城陽市議会の議会運営委員会の皆さんが、議会改革の関係で視察に来られました。重要案件の意見交換会についてと、政策討論会についてが視察内容で、議会改革に関わる内容なのでこの委員会の正副委員長と、副議長とで対応させていただきました。

今日の議題は、その他も入れて7点挙げさせていただいています。議題の1から4までについては、前議会からの送りの内容で、特に検討に着手したけれど結論が出せなかった項目です。5番目も同様に結論が出ず、送りされた内容です。6番目は、今回の委員会発足時に各会派から検討項目として出していただいた1つです。今日はこの6つについて、一定程度の方向を見出したいと思っているのでよろしくお願いします。

1. 政務活動費の使途を議会だよりで公開

議題1について。ご承知のようにこの件はホームページの方で領収書1円まで含めて添付したものが公開され、見られるようになっていくことを前提に、少し議論していただきたいと思います。紙面の幅等の関係もありますし、そういったことも含めて判断いただきたいと思います。これは、広報ではまだ議論に至ってないですか。その辺も含めて方向を出したいと思います。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

先般の議会報告会の弥栄会場で、ホームページが見られないので、議会だよりが議会の情報を得る唯一の手段だと発言された方がいらっしゃったと聞きました。そういうこともあるのだろうと。年に1回ですから、議会だよりのどこかでページを増やしてもらっても報告するというのは必要ではないかと。政務活動費を7万円から10万円にアップしていただいた。議員24名が政務活動費をオーバーしてどれだけ使っているかという実態を知らせる必要があるのだろう。そうしないと将来にわたっての議会だよりの増額も含めて、要求していきにくいということがあるのだろうと思います。それと、全て公開出来るかという物理的に無理なので、多分金額だけということになると思うので、第一段階とすればそれしか無いかと思います。それで十分ではないので難しいと思います。その辺りが論点になるかと思っています。

江角委員長

皆さんご存知ですよね。ホームページでは全員の使途総額金額と項目、領収書が公開されています。牛尾昭委員から発言がありましたが、もう少し聞いてみたいと思います。確かに紙面でホームページのようなことをやると大変な量で、とても出来ないと思いますが、年1回のところで使った金額までは公開が許される範囲かなと思います。それも含めて広報広聴で検討してもらおうという手もありますし。もう少し意見をうかがおうと思います。佐々木委員。

佐々木委員

政務活動費を何に使ったのか、市民に示すのは非常に大事なことです。

今言われたように、紙面のスペース上、金額程度のみになるのは仕方ないと思いますが、それと併せて何に使ったか、使途についての項目だけでも。そうするとその議員が、どういうところに視点を置いて議会活動をやっているかも併せて市民に知らせることになると思います。あまり長々と文章化すると書けないので、せめて項目と金額ぐらいを是非書き加えて、報告していく方向が良いのではないかと思います。

江角委員長
野藤議員

他に。野藤議員。

例えば各支所とか、公民館。公民館辺りは特にホームページを見られない世帯の方が多い気がします。そういった所に例えば期限を切って、例えば月の初めとかに、そういう掲示をさせていただくということは出来ないのですか。

江角委員長
野藤議員

それも1つの案ですね。

それかホームページを印刷したものを冊子風にして、公民館で閲覧自由にするとか。

江角委員長
西村委員

はい。具体的な提案がございました。何か他にありますか。西村委員。

年に1回報告するじゃないですか、我々が。その中にワンペーパーで項目の番号を打って、費目を書いて、何円で、記事欄に何に使ったかみたいな、一覧表がありますよね。あれを載せるのが具体的には手っ取り早くて分かりやすいのかなど。要するに年1回載せる方向で。

江角委員長

A4判半分にしても24人分ですよ。それはこちらが判断することではないですが。はい、次長。

小川次長

今出た意見を広報でやるとすると、と思って見ると、議員名は羅列します。上の所に政務活動費は年間10万円ということを書いて、各議員の利用した金額を1マスなんかにしておいて。一覧表にして議員名があって、使った金額があって、主な使途か何かにして、先程言われた、項目の中から主な物、金額の多い物を上から2つぐらい載せていくという形だったら、半ページあれば多分、半ページも要らないかもしれないです。半ページあれば載ると思います。その辺をそのぐらいで載せること、あとは掲示板、各公民館とか色んな掲示板を使って周知するというのを、ある程度ここで集約してもらって、広報の方で検討してもらおうというのが一番良いのかなと思います。

江角委員長

だいたい議題の3番目くらいまで広報関係になるようなことで。今の何人かの話の聞けば、更に公開は必要だろうということで。ホームページ以外の方法で、ということなので、それは確認出来ると思います。それから、広報に載せる方法、それから、色んな他の方法でももう少し詳しく、一定期間区切って周知公開する方法はないか、ということまではいただいたと思います。ざっくりその辺でまとめさせてもらって、具体的には広報広聴の方で、紙面を担当しておられるところでもありますし、広報の在り方も研究されているポジションでもありますので。そこで決めてもらっても良いですか。

牛尾昭委員
江角委員長

委員長良いですか。

はい。

牛尾昭委員 広報で報告するというのは全員概ね賛成だと思います。その仕方は次長が言ったように、賛否の一覧表みたいにやれば良いだろうと、それは良いと思います。あとは広報広聴に聞いていただいて。ただ、公民館等々でそういうのをやるというのは、もう少し詰めておいてもらわないと。した方が良いか悪いかどっちだろうというような形で振ってもらっても、広報委員会も絞り込みが辛いのではないのでしょうか。

江角委員長 次長。

小川次長 公民館の掲示板は実際そんなに大きなものではなくて、おまけに、色々な活動について貼ってあったりして。例えば1ヶ月なら1ヶ月、やるとしたら大きなサイズのものを貼らなければいけません。それだけのスペースを取るよりかは、全戸配布の議会広報に載せて、それを見てもらうぐらいで置いた方が良い気はします。

江角委員長 佐々木委員。

佐々木委員 当面は議会で使える媒体、ホームページや議会だよりだと思っておりますが、それを先行してやってはどうか。公民館という手法もありだとは思いますが、それはまず公民館にお願いに行かなくてははいけません。そういったニーズがあった時に考えていけば良い気がします。とりあえず、労せず出来る方法で先行した方が取り組みやすいし、広報の方でも検討しやすいのではないかと思います。

江角委員長 それでは今のような方向性でまとめさせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

広報の方で「他の方法がある」と言われれば、それはこちらがどうこう言えることでもありませんので。それでは議題1の件については、議会だよりで何らかの形で公開なり、ホームページへ誘導してもらうような内容を含めて検討してもらうということにさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

2. 市議会ホームページの充実

森谷委員 議題2ですが、これも前回のところではざっくりした形で申送りになっています。今回いくらかホームページが充実されたということではありますが、更に尚、ご意見があればうかがっておきたいと思っております。森谷委員。

投票率も下がりますし、若者に関心が無いという流れだと思います。これからどういうのが出てくるかも分かりませんが、今だとTwitterとかFacebookとかありますが、結構使っているところが多いです。これから出てくる新しいものを常に取り入れて、20代等若年層の人たちが興味を示す、意見を言える底上げみたいな形で、新しい媒体を追いかけていけるようにしたらどうかと、個人的に思っています。

江角委員長 前回の申送りの内容は、議会広報の1つの手段として広報広聴委員会が積極的に関わるべきではないか、ということが書いてあります。この当時は、まだホームページも今のようにはなっておりませんでしたし、委員会の性格もちょっと変わってきております。最近、ホームページとかがあ

ると言ったら、行政の方とも連携を取らねば難しいかもしれませんが、広報広聴の方でいくらかは話になっているんですかね。

佐々木委員

私は入ってないです。

(「議論にはなっていない」という声あり)

江角委員長

もうちょっと内容を充実した方がというのは、誰も充実した方が良いとは思うのでしょうか。佐々木委員。

佐々木委員

今は入ってないですが前は入っていたので。前の視察で、やはりそうしたホームページの公開というのも、色んな先進市の取り組みを勉強した記憶があるのですが、浜田は今、議会事務局を中心に更新等をしてもらっていると思うのですが、非常に労力がかかっていると、言われませんが恐らくそうではないかと思えます。先進市は、ITに長けた議員さんがおられるところは、それなりに議会が独自でホームページを更新して、非常に良いものを作っているという例があったような記憶があります。それであれば充実というのも非常に良い項目だと思うのですが、そういった人がいなくて、他力本願という状況では負担をかけるばかりで、ホームページの充実もなかなか難しいかな、という気がちょっとしています。

江角委員長

この項目、またそれこそごっそりくくってもいけないでしょうから、今のホームページで、森谷委員が言われたような、もう少し具体的な、こういったところを改善していった方が良いのではないかとすることがあれば出してもらって、基本的には広報広聴に考えてもらうというか。行政側との関わり方もあるのでしょうか。森谷委員。

森谷委員

この辺ですと、どういうわけか美郷町がめちゃくちゃ先進地なのです。イメージは過疎の田舎町みたいですが。例えばコンビニが1つしかないのにコンビニ収納をやっていたり、ここではLINEとFacebookが実際にやってあります。近いし見に行けるし、行きやすいし、そういった所の情報を集めるようにしたらどうかと思えます。

江角委員長

5番のIT化のところ等も含めていったらどうかという気持ちもあるのですが。その辺のポジションですよね、ここがそこまでやっておいて広報広聴へ持っていくのか、広報広聴がやられるのか。そういう問題もあるのでしょうか。それも含めて、森谷委員が言われた、見に行くことはやぶさかではないと思えます。どうでしょうか。平石委員。

平石委員

このたび市役所のホームページがリニューアルされました。その時の過程の中で、今森谷さんが言われたような、Facebookを使ってやるかというようなことを、全然考えなかったのだろうかと思って。スマホ用の画面ですごく使いにくくなった。探しに行こうと思っても、前はここから直接いけていたのが、一応大まかに分けてあってここから入っていけ、みたいな感じになっているのだけど、なかなか探すところに辿り着けなくなったりして。

江角委員長

次長。

小川次長

実は、経過は知らないのですが、最終的な操作説明会の時に聞いた話で言うと、今回の変更はアクセシビリティ関係、アクセシビリティというのは障がいのある方もお年寄りも皆が使いやすいようにという意味のIT

用語なのですが。そうすると、僕たちは今までのように1ページに一杯の項目が出ている方が探しやすいのですが、障がいのある方とかお年寄り等は、何かの項目に関連付けていった方が探しやすいということがあるみたいで、そういう形に作りなおしたそうです。

今、ホームページの更新は各課の担当がやるのですが、最終的にアクセシビリティチェックというのがあって、チェックを押すと、ここが駄目ですと出てきて全部直さなければいけなくなっていて。例えば、名前の表記で一文字ずつ空ける時にスペースで空けてしまうと、音声に変えた時に読めないから駄目ですとか。そんな細かい所まで全部チェックがかかるんです。実際全部は直せないんで、ある程度は目を瞑ってますが、そういう細かい、見やすいようにということでああいう大きな項目だけにして、そこから関連付けて下に行ける形に直したというのが今回の更新です。他のところのホームページも見ると、今まで画面に一杯あったのがすごく簡単になっているのが何ヶ所かあるのですが、多分そのアクセシビリティ関係で、そういう簡単な画面になっているのだと思います。僕たちにとってははっきり言って前の方が見やすいです。

それとホームページの充実で言うと、浜田市議会のホームページというのは、はっきり言って全国で上位4分の1ぐらいに入るくらい色々な項目が載っていて、すごく充実していると思っています。もっとももっとすごいところはあるのだけど、これ以上何かやるかという、それはもう、今ここでホームページの充実として挙げず、議員さん方なり市民の方なりから、こういう項目を入れたらどうか、こういうふうにしたら良いんじゃないか、というご意見があればその都度いただいて、当面は事務局で対応していくという形を取らせてもらった方が良いのかなと思うし、更新は僕たち職員のパソコンでないと出来ません。職員のパスワードでポータルサイトに入って、自分で直して。議会は議会で1つのサイトを持っていますので、各担当が作ったものを私が見て、承認すればオープンになる。そういう形になっているので、先程も言ったように、ご指摘をその都度いただいて、それに合わせて僕たちがホームページを充実させていくという形にした方が、今の段階は良いのかなと。それこそ先程言われたように、先進的な議員さんが何人もおられて自分たちが全部やるわ、みたいなことがあれば、それはそれで良いのかもしれませんが、今なかなか編集や具体的な操作にまで携わるといのは、システム上もパスワードで入らなければならないのもあって、ちょっと難しい気がします。

牛尾昭委員。

平成21年の段階でベストホームページ賞ノミネート、全国の市議会の中でベスト5に入っていましたので。変える前のホームページでそういうことだったので、相当レベルが高いのは証明されているので。今次長が言ったように、そんなに今触る必要無いかなど。僕もスマホで見ると前より見にくくなったので、その辺がイラつくなというぐらいで。森谷委員が言われたことは5番の方で。今回広報広聴で視察に行った先進市にも、その辺の事例があったりしたので。ホームページについては、このままでいっ

江角委員長
牛尾昭委員

てもらえば、今の付帯意見も付いて、相当レベルが高いから事務局が手を入れれば良いじゃないかということを含めて言ってもらえれば助かると思います。

江角委員長

今、改革の内容が特別無いということになれば、ここで議論する必要は無いので。前回から時間も経っていて意識も変わっていることと思います。所管は広報広聴ですので、事あるごとにそういう問題があれば、広報広聴で議論してもらいながら改良を図るということで。今日無ければ。

西村委員

委員会の会議録はどうなったんですか。何か議論があったような気がするんですが。

小川次長

委員会の会議録はこの間、PDFで載せることに決まりましたので。議事録等の期日に関しては申合せ事項に載っているの、あれと併せて変えて、出来ればこれも6月2日の委員会の時に、申合せ事項をこういうふうに変えたいと思いますというのを出して了解を得たら、遡って去年皆さんが新しく改選された、11月以降の委員会の記録から全部載せようと思います。

西村委員

分かりました。

江角委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり)

無いようでしたら、先程のようなまとめ方にさせていただいてよろしいですか。

(「はい」という声あり)

それでは次へまいります。

3. 議会だよりの充実

議会だよりの充実について。これもまさに広報広聴の管轄なのですが、申送りの議題になっているので、整理をしたいという意味で。

牛尾昭委員

ただ、今回の議会報告会の流れを受けて、議会だよりあれだけじゃ分からないとか、限られた行数の中で絞り込んでいるので、この程度しか書き込み出来ないのだということも報告されましたが。今回広報広聴で3市行ったけれど、議員の与えられた紙面というのが、浜田市議会よりも枠が多かったはず。一緒に行かれた方(はご存知だと思いますが)。だから、お金もかかるのだけど、もう少し。だいたい2人で1ページというのが多いです。今でもぎりぎり集約してコンパクトにまとめていますが、もう少し余裕があっても良いのではないかと。写真を入れて見やすくしているため、更に行数が制限されているので。予算との絡みがあるので何とも言えないんですが、その辺については広報というよりも基本的な、議会だよりの入り口論での充実というところを、議会改革の中で議論しておいてもらえれば、広報の方でも更に議論しやすいような気がするんです。委員長お願いします。

江角委員長

今牛尾昭委員が言われたこと関連して何かありますか。今は一般質問の字数は、どこの定例会でも固定ですか。人数が少なくても同じ字数ですか。

(「同じです」という声あり)

牛尾昭委員

それはやはり一般質問のところを増やした方が良いのか、他の情報をもっと増やした方が良いのか。

一応今回3市行きましたが、やはり一般質問が少しページがあるように感じました。スペースがあれば良いというのではないけど、多少見ると浜田市よりも1人の議員にスペースを割いているところが多いというのが実態です。

江角委員長
西田委員

これは皆さんの意見をお聞きします。西田委員。

私は佐々木班で議会報告会に行きました。その時は、議会だよりの表紙のカラーを止めて、もっと削減したら良いのにといい声もありました。カラーがどのくらいの料金なのかというのがありますが、調整しながら予算内で、あるいは予算を縮減する方向でも、枠が広げられるなら、それは1ページでも2ページでも。

江角委員長
西田委員
江角委員長
岡本委員

削減してというのは、予算を削減してページをとということですか。

そうです。カラーは要らないのではないかと。そういう話もありました。

岡本委員。

議会報告会の話が出たので、少し私どもで出たお話もしたいと思います。賛否のことについて、実際どういう理由で反対なのかというの載せないと分からないだろうという話が出ました。その辺も含めて、今3つほど出ていますが、ここでも協議する必要があるのでしょうか、広報広聴の中でも実際に話し合っ、最終的にはページ数を増やすかどうかという話まで展開するのだろうか。そういうこともありました。

江角委員長

はい。何人かの方から、紙面の充実という意味では少しページ数を増やしてでもするか、そうしないと詳しく報告出来ないのではという話が出ました。もちろん予算の関係もありますが、そこは抜きにして。他にご意見ありますか。写真等も必ず入れるようになって、見やすくはなったという声もちろんあります。しかし字での説明が難しい字数かもしれません。議長。

原田議長

議会だよりの充実について、議会報告会の中で、特別委員会の状況は何で載せないのかという話がありました。ずっとでなくても良いが、大事な時にはやはり特別委員会についても載せて欲しいという要望が出ていました。

西村委員
原田議長
西村委員

あれは載せるというよりも、報告して欲しいという声でした。旭で。

ですね。

議会だよりに載せてくれというよりは、報告会の時に報告してくれと。常任委員会だけでなく。そういう意見は出ました。

江角委員長

他に何かありますか。もう少しページ数を増やしてでも、盛りだくさんの内容が報告出来たり、もっと詳しく報告が出来たり、というようなことでまとめさせていただいて。具体的には広報広聴がされることだと思うので。今の紙面でも出来る内容もあるかもしれませんし。今日出された意見をそういう形にまとめたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

それでは次の議題にうつります。

4. 議員控室等の充実と活用

- これは具体的には、議員控え室への議員机やパソコン設置。それから事務局で議員が資料作成をしたり、正副委員長の打合せ等がしやすいような机の配置。ソファでなくても、長テーブルみたいな。あそこで調べ物をしたりといったことが出来るような、議員控え室と事務局の充実と活用というような内容になっています。パソコンはまだ各控室には早いのではないかとといったようなことを、どこかで議論した記憶があるのですが。改選後からはしていませんが。その辺も含めて少し、ご意見をいただきたいなど。控え室の充実と事務局で打合せが出来るような体制みたいなことも含めて。今議員が使えるパソコンで言えば、局長室に2台ほどありますが。
- 小川次長 あれが古いので、もうちょっと新しいのに変えられないかなと思っています。
- 江角委員長 副議長。
- 澁谷副議長 私ども議長団は部屋をもらっています。部屋をもらって机をもらっているんで、毎日来ても居場所があるわけですが、議員の皆さんの控え室は休憩所みたいな形になっておりまして。先進自治体の議員控え室等を見ると、議員の方が、自分のスケジュールによって絶えず出入り出来て、机があつてパソコンがあつたり。状況によっては冷蔵庫があつたり水回りもあつたり。そこで議会活動の資料作成から色んな話し合いが出来るような仕組みになっているように感じています。今の控え室は休憩が主で、議会活動の一助になるような状況にはなっていないのではないかと。パソコンは家にあるという考え方もあるとは思いますが、今の時代、最低パソコン1台が各会派に無いと、スムーズなことは出来ないのではないかという気はしています。
- 江角委員長 県議会へ行きますとも、1人1つの机とパソコンが準備してありますし、もちろん担当職員が会派についておられるような…まあそこまでは（言いませんが）。時代の流れだとは思いますが。議員も減りましたので、机等も置ける体制には近づいてきたのではないかと思います。森谷委員。
- 森谷委員 用意してもらおうという以前に、自分のパソコンを持って行ってでも使えるような環境が欲しいと私は思っています。扱いやすいし、パスワード設定しておけば人には見られないし、1個置いておいても良いし。それでWi-Fiが出来るようにしておいてもらえれば、自分のを持ってきても良いわけです。ちょっと古いやつとか。あとプリンター。印刷したら誰がどうやって負担するかという問題があるくらいです。スマホを使うにしてもWi-Fi環境は絶対必要ではないかと思えます。
- 江角委員長 牛尾昭委員。
- 牛尾昭委員 かねてから思っていることがあって。たまたま任期が長いので、政務活動費で専門書を随分買わせてもらっているのです。僕だけが僕の政務活動費で買ったものを、議会活動のために参考にするというのはもったいないような気がして。500冊以上あるわけです、私費で買ったものを含めて。改選後ずっと思っているのは、図書室はあるのだけど、私的な、議員の皆

さんにお貸しするようなことをしてお役に立てたらと。どうしたら良いかというのはよく分からない。議長団とも相談しなければいけないと思うんですが。公費で買ったものと言えども、私1人でしか読まないというのはもったいないような気がして。控え室の中で、図書室の充実はまた別にやらなければいけないだろうけど、なかなか予算の厳しい中でそこまでいかないでしょうから。そういうようなことが何か出来ないかなと。ぼやっとした意見で申し訳ありません。

江角委員長

議会図書室は図書室で項目があるのはあるのですが、またちょっと違う角度から。議会図書室へ行ったことがありますか。知らない人も多いようです。新しい人は見たことが無いんじゃないですか。倉庫になっていて。議員控え室について、机の関係、私用パソコンも含めパソコンの使える環境、政務活動費で購入した図書の活用等も、議員控え室等を使って出来ないかというようなご意見でした。次長。

小川次長

先程ちらっと話しましたが、各会派にパソコンというのはなかなか、すぐ右から左へは動かないのですが、局長室にある議員さん用の2台のパソコンだけでも、もうちょっと動きが早いものに出来ないかと思っていまして。どちらにしても予算を増やすわけにいかないのです。例えば皆さんには行政視察をなるべく安くあげようとしてもらっている、あの辺を若干流用させてもらって備品購入費に充てさせてもらって、了解をもらえれば、今年度中に何とかするかとか、色んなことを考えて。とりあえずあそこのパソコンだけは新しくしたい。それと打合せですね、各正副委員長との打合せや色んな打合せ部分については、現在、局長室のソファを使ってやってもらっていますが、あそこは人が見に来たり、見えちゃうので困ることになれば、議長応接室が。図書室と議長室の間にありますがほとんど使われておりません。使うのは議会中に市長や副市長が休憩される時に、下にわざわざ下りずにあの部屋を使われるぐらいで、普段は空いているので、ああいう部屋を打合せに使ってもらう形で、当面は凌いでいければと考えました。

それと牛尾昭委員が言われた、色んな本の関係。実は僕らも毎月月刊誌を取っていて、読んだ後は自分の机に積むしかないんです。入る分は後ろの書棚に入れているんですが、入りきらなくて。色んな情報が載っているので時々引っ張って見たりするので、ああいうのも置ける…要は私的に買った本が一杯あるのなら、控え室にラックでも買ってそこで皆さんが共通で見られるような形にするのも1つの方策かなと、話を聞きながら思いました。

江角委員長

牛尾昭委員。

牛尾昭委員

議会改革の一環で、それぞれの政務活動費を有効に使うために一定のルールを決めて、もし出来ればとずっと思っていました。何か上手く、そういうことが出来るように。

江角委員長

それはまた別個の所で集中議論させてもらうことにしましょうか。議題の項目に挙げるということで。今の、議員控え室のところはだいぶ異論は無いのですが。机が1人1台あって、資料が自分の机で整理出来たり、

パソコンが1台あったりするの、誰も今の時代は当たり前になってきているので。すぐに出来るか出来ないかは別として。当面は次長が言われるように、局長室のパソコン等は早急に少し使いやすいものに変えてもらうということで、整理していただければ。それから打合せ等は議長応接室を活用したり。色んな意味で、使えるものは使うということでおきたいと思います。今、提起にあった、各々個人のものが当面使えるとすれば。今は部屋まで線が来ているんですか。

小川次長
平石委員
小川次長

控え室には…。

電話線は来てますが、あれではインターネットは繋がらないので。

全協室や委員会室や議場にはあるはずですよ。Wi-Fiが入ります多分。視察等に来られると画面見ながらやってらっしゃいますので。将来的に各議員さんに机を1台置いて、資料作成やら協議が出来るような形というのは、スペースの問題もあるし予算の問題もあるので、ちょっと時間かけて検討させてください。

江角委員長

色んな意味で頭に入れておいてください。環境整備も含めて。曖昧な話になりましたが、ここでもう少し詰めておく必要はありますか。次のIT化で、皆さんがきちんと使えるように、使えるというのは技術的にはなく。議題4はちょっと曖昧ですが、将来そういうことが出来る体制を目指して準備していくということで。当面出来ることは、控え室の活用なりといった部分ではやっていくということで、お願いしたいと思います。そういうところで大変申し訳ございませんが、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

では次の議題にうつります。

5. IT化の推進

これも少し議論はしてきたわけですが、なかなか具体的にこうしようというところまでは出てきませんでした。ただ、個々の持ち込み等は認めていこうということでやっているのが現状です。この辺で全体的に出来るようにするにはどうするか、というような意味合いの項目ですので、ご議論いただければと思います。これも美郷だったか、やっておられるのは。

小川次長

ちょっと説明させていただきます。先程森谷委員がおっしゃったように、タブレットの活用は美郷が非常に進んでいます。これは執行部からの提案で、ペーパーレス化という意味合いで導入されたようですが、議員と執行部が全員同じタブレットを持って、今年の3月議会ぐらいから始まっていると思います。議案等を全部それに入れてしまって、そこに見に行けば、皆同じものが見られるという形です。実際そこに入れられた業者さんがたまにこちらに寄せられた時に、ちょっと話を聞いたこともありますが、あの業者さんのは本当にページをめくるような形で見られて、それを美郷さんは入れているみたいです。それと同じ業者さんの関係で、今出雲市が、委員会で試行されているというふうに聞いています。希望者を対象に試行しているということが新聞に載っていた気がしますので。昨日はテレビで、鳥取県日南町がやはりタブレット議会にするということで、これも執行部

と議員さんがタブレットを持って議会をやったと。1回目が終わったけれど、その前に使い方等の研修を一杯されて、つつがなく終わったということがニュースに載っていて、こういうのが増えてきているのだとは思いました。ただ日南町さんののは美郷さんや出雲市さんが入れておられる分ではなかったです。色んな業者さんがそういうシステムを組んでおられるようです。まずは実際に見るとというのが一番大切だと思うんです。出来れば事務局も出雲の試行についても話を聞きに行ってみたいし、この6月議会中にもし委員会の日程が重ならなければ、美郷町の本会議を、事務局が先に見に行ってみようかなというのも実は思っています。重なったら見に行けないので終わった後で話を聞こうかなと思いますが、最初は見勉強して、おまけに議会だけが持っていて、ペーパーと重なったら意味が無いので、出来れば執行部巻き込んでペーパーレスにしていきたい。日南町の昨日のニュースで見た限りでは、議会関係だけで年間4万5千枚ぐらいのペーパーが要らなくなるということでした。だいたい市議会が600ページぐらいのページ数があるので、それが議員さん分と執行部分が4回分、それが浮くということです。日南町はある程度お年のいった議員さんも一生懸命使い方を勉強されて、何とか出来たということもありました。慣れだと思しますので。ただ昨日のニュースだと、日南町クラスでも機器だけで390万円ぐらいかけて入れたということです。それにシステムを組んでやると、その辺の金額も兼ね合わせながら。時代の流れというか、今皆さんの議席の下に例規集3冊が入っていますが、あれも無くなる。家に持って帰るのも楽で、いつでも見られる。労力的にも非常に楽になると思いますし、良いことだとは思っています。当局側がペーパーレスで言うてくるか、議会側から呼び掛けるか、その辺はあると思いますが。もしあれなら、議会側から「こういう形で一緒にやってみないか」と呼び掛けをして当局を動かすという手もあるとは思っています。ちょっと勉強したいなと思っています。

三浦局長

多分出雲は、議会側から執行部に投げかけています。

江角委員長

議会側はいいわということではなく、恐らくやろうやというとおりになるとは思いますが、執行部側の受け止め方とか。

三浦局長

見てもらったり、やっぱりじかに色々やってもらうのが一番かなとは思っています。

江角委員長

森谷委員。

森谷委員

先程次長が言われた、業者の人に私もお話したのですが、美郷というのは議員でもおじいちゃんが結構います。その人たちは勉強したらしいですが、実はスミノヤの2階にパソコン教室があって、あの人は日本でも有名な、iPadの販売会社なんです。テキストなんかを売っているらしくて。そういう人もおられるので、その業者さんは、浜田にはあの人がおられるんですよねと（おっしゃっていた）。業界では日本的に有名なんです。それから、4、5万の印刷が無くなるんですが、私はいつも積んであるのを見るのですが、事務局側がコピーしてセットするんですよね。僕はあれがすごい事務量じゃないかなと思うんです。人を減らされたりしてますので、事務局側のメリットもすごいと思うので。誰が言いだしっぺになっても良

いから進めるべきじゃないかと思っています。

江角委員長 議会側から提起する、実施をしていく方向で、それにあたって皆さん方からももう少しご意見があれば受けたいと思います。これも、決めてすぐ実現出来るものではないにしても、する方向で執行部に投げかけていくにあたって、もちろん議会全体にかけなければいけません。もう少しこの辺をやるべきじゃないかということがあれば。

牛尾昭委員 美郷は日帰りでどのくらいかね。

小川次長 美郷だったら片道1時間半です。

牛尾昭委員 皆でバスで行けば良い。

江角委員長 委員会で先に1回行って見て…。

小川次長 本会議の場を見て、終わった後で話を聞くのが一番良いんでしょうけど。それが出来るかどうかというのもあるので。おまけにうちの議会と重なったら出来ない。一応その辺も聞いてみて、もし重なっていないようなら行ける人だけでも行ってみませんかということで行ってみるのも手だと思います。議会が終わった後に話を聞きに行っても良いです。その辺はちょっと検討させてください。あとは出雲の現在の試行がどうなのか。上手い具合にいつて変わりそうだという話だったら出雲に聞きに行くのも手かもしれません。

平石委員 出雲は賛否もタブレットで繋がるようになっていきます。やるならそれも見据えていかないと。

江角委員長 それではIT化の推進ということでは、タブレットの活用ということで推進を図っていくということで、執行部にも投げかけていくことを1つのまとめとさせていただきます。具体的な問題もあるので、視察なり、出来れば勉強会もという、前回のところではそういうふうになっていますが、具体的などころで少し。視察・勉強の件は、行くなら皆で行った方が良いでしょうと思いますが、正式に出来るのですかね。予算の件は関係なく。

小川次長 全体予算の中で何とか捻出するなら。出ても1,100円ですから大丈夫だと思います。

江角委員長 また日程調整してもらおうということでもよろしいでしょうか。
(「はい」という声あり)

それは日程が合わないといけないので、また調整が必要だと思います。よろしくお願いします。

6. 質問等の「発言通告書」の提出を、FAX・メールでも可能に

議題6について。これは冒頭に言いましたように、新たに検討項目に挙げてということが出されたものです。事務局の整理の仕方もちろんあるので、議論を深めなければいけません。非常に遠い議員さんもおられて、色んな意味でこちらに出てくるだけでも非常にハンデになっている面もあるので。出来ることならというような項目ですが。まず事務局側で、これをやって困るようなことがあれば。

小川次長 今、抽選は原則皆さんに来てもらってやっています。その前に受け付け順に抽選をしてもらっていますが、メール・FAXで送ってもらった時に

どういう整理をして、受け付け順を決めるのか。その受け付け順が本人さんに分からない。1回出しておいて直しがあつた時にどうするのか。細かいことを言うと色んなことが…。ちょっとまだ、整理したい部分はまだあります。確かに遠方の議員さんにはメールで送れば楽だろうと思います。抽選も今は原則的に来てもらって、来られない方は議長に一任という形にしていますが、あっさり、抽選は全部事務局や議長に一任するのだというルールを決めておかないと、なかなか難しいのかなという気はしています。

江角委員長

今のようなことも踏まえて、この件については意見をうかがっておきたいと思いますがいかがでしょうか。森谷委員。

森谷委員

次長に質問なのですが、今、一般質問を出しますよね。それが受け付けられて、訂正が入って、新しくまた第2弾を持っていったとすると、どちらが順番になるんですか。

小川次長

本来は、内容的にざっと見て間違いがなければ受け付けます。受け付けておいて番号を取っておいて、中身をもう1回再チェックして誤字とか言い回しミス等があれば、すみませんが直してくださいと。持ってきた分は前の受付で受付はもう終わっています。

森谷委員

ということは、FAXでも第1弾の日付、確実に分かります、問題ないです。それよりも、ここで妥当かどうか別なのですが、一般質問は縦に線が入っていて、項目をずらしてもついてきてくれないとか、すごく大変で。ワードで1回打ってそれを張り付けているのだが、直してもらえないかと勝手に1人で頼んでいるのですが、その辺を改革すると議員がめちゃくちゃ楽になると思うんですが。

江角委員長

これも入れようと話していたのですが、ちょっと入ってないですね。

小川次長

委員長とはその話もしようと話してたのですが、森谷委員だけではなく何人かの議員さんから、あの書式が使いにくいという話がありました。急遽なのですが、先程全協が終わった後、この項目だけはきちんと押さえてもらっておいて、あとは打てば良いように、様式ではないのですが、参考例を作ってみました。こういう形だったらどうだろうかと思って。2、3名ではなくもっとたくさんの議員さんから、使いにくいという声を聞いていました。特に新しく入った議員さんから…。このやり方だと枠とか関係なくベタ打ちで打っていけば良いので。事務局から誤字等を指摘して直すのも、データでもらえればこちらで直せる。原則的にはここ違ってますよと言って直してもらって出してもらおうのですが。多分これなら議員さん方も楽になると思います。線に拘らずに内容さえきちんと。

三浦局長

執行部も、中身さえきちんと何を問われているか分かれば良いという。様式に拘るものではないので。市民に出るものではないので。要はきちんとした質問内容が確認出来れば。

道下委員

早くやりなさいよ。一杯苦労した。

小川次長

一応、前の時に一般質問を一問一答にする時に、議員さん方一生懸命話し合われて作られたものですから、それをずっと踏襲してきて、僕らが勝手に直す話ではないので。ただ、今回何人かの方から聞いたので、ちょっと直してみました、ぐらひの話です。全然気にならなければそれで。

江角委員長

この項目では、元々の分と、今出された通告書の様式の関係で。次長からはこんなことも試案として考えてみたということですが。まず事務局の方で先程ありました、これをFAXやメールでの提出を可能にした場合は、もっと整理しなければいけない部分もあるということには分かりましたが、それはそれとして整理をしていくということになるかと思いますが、どのようにしていくかということで、出来れば今日方向を出したいと思っています。今までどおりなら今までどおりで、まとまればまとまりますし。これを認めていこうということになればまた、更に改善は必要ですがそのようにしていく。道下委員。

道下委員

個人的ですが、私はFAXやメールでも可能にさせていただきたいと思います。本当にめいっばいの時間をいつも使うわけで、市役所まで届けに来るといっても苦痛になっている状況がままありますので、是非、FAXでもメールでもやらせていただきたいと思います。それとこの、次長の作成した案ですが、私は自分のやり方が間違っているからあの書式上の編集でとんでもないことになるのかと思っていました。まさにこういう使い方なら、どんどん打ち込めば良いわけで、是非ともやっていただきたいと思います。非常に思います。

江角委員長
佐々木委員

今の2つの点で、意見を言ってもらえれば助かります。佐々木委員。
FAX・メールは、基本的にそういう流れが良いのですが、先程言われたように、不都合なところ、特に内容確認が出来にくいとか、そういう問題さえクリア出来て、抽選をお任せしたりするようなことになればいけるのではないかと思うのですが、要はそれで色々時間を取られて手間取ったりという問題の、負担がどうかと思って。その辺が整理出来れば、その方法の方が良いのではないかと思います。問題点だけ整理出来れば。

三浦局長

先程次長も話したのですが、先般も副議長さんの方から一般質問の中身の関係については各議員さんにお問い合わせされたところです。要は締切があつて、執行部に送る時間があるわけで、それが今の段階はすごく短くて、確認を必ずきちんとした後で執行部に送らないと、執行部の方も質問内容が、どこまで訊かれているのか分からないとか、結局要は、訊かれている中身がきちんと正確に判断出来るかどうかの問題で。一番問題点は、FAX等でぎりぎりに送られてきた時に、事務局が確認して、議員さんと正式なもののやり取りが出来て、時間までに間に合うかというところで。そういったものが整理出来て、きちんとした質問書になれば可能だと思います。ただ先般もやはり、各議員さんに確認するのに時間がかかったり、ぎりぎりになって遅れたという部分があります。ですから事務局としては、もう1度6月議会を通していただいて、議長団や正副に昼から中身を確認いただいて14時に送ることになっていますので、そういった状況を再度確認させていただいて、この項目については再度その判断で検討いただくということにはならないだろうか、と個人的に思っています。方向性としては良いと思うんです。2日前や3日前にFAXを送られて、確認して、やりとりがきちんと出来て、期限までに受け付けが出来るのであれば、当然良いことだとは思いますが。要は問題は当日のぎりぎりにFAXとかメ

ールで送られたものを確認して、果たして議員さんとやりとりが出来るだろうか。その辺の問題点が論議されていませんので、6月議会は従来どおりでさせていただいて、その中身を検討させていただいて、問題があるか無いかも含めて、再度特別委員会で、その報告も含めて検討いただくのはどうだろうか、というのが局長の思いです。

牛尾昭委員

今の局長の発言を確認したいのですが、FAXやメールで送ること自体が問題ではなくて、議員の原稿の中身が、何を問うているか分からないという、質問の中身についての言及なような気がしたのですが、そういうふうに理解しても良いですか。反問権ではないですが。

三浦局長

反問権ではないですが。そういうことがありました。これは、私が思っているだけではなくて、執行部から中身の質問内容が確認出来ないという指摘が事務局へもありましたもので。当然、全部の議員さんの質問のチェックはするのですが、なかなか時間の部分で、少しその辺のチェックを事務局が怠ったという部分もありますが、やはり新しい議会になってその辺の部分もありますので。そういった意味では、牛尾昭委員が言われたところの部分の、思いがあります。

牛尾昭委員

20人弱の議員が原稿を出すわけですから。僕も含めてぎりぎりの方も結構多くいらっしゃるんで、それをあの時間で中身を整理するというのは無理ですよ。だからFAXもやるなら、先程言われたように6月議会を乗り切って次のテーマというのが良いと思いますが。逆に言えば、FAX・メールについての締切を少し早めるとか。そういう工夫があればいけるのかなという感じもします。どちらにしても事務局に負担がかかって大変といったようなことは、僕はまずいと思うので。

江角委員長

いずれにしても、6月議会に適用するために結論を出そうということではないので。先程言いました問題点があるということでしたからそれを整理して、やれるならやる方向、それから全会派の議員の皆さんにもお話をしながら決めないといけませんので。ただ、FAXやメールにしたから、分かりやすい内容にならなくなるとか、連携が取りにくいというような問題ではなくて、それは議員側が気を付けなければいけない問題で。実際には、昔は1時が締切でしたよ多分。ただそれだと議長団が点検しにくいから、問題があつて。これをもうちょっと早めてもらって見る時間を作って、執行部に渡しましょうということになってしまっているのです。前の方が楽だったと僕らは思っているけど。そういう経緯の中でそうなっているから、その時間が取れるかどうかの問題です、やり方の問題ではなくて。

澁谷副議長

だから、きちんとした原稿が出てくれば全く問題無いのです。そのレベルにいつてないから色々なっているわけですから。自分たちそれぞれが十分反省して、間違いのない自信があつてから言つていただくと。事務局が探したり、連絡を取つても取れないとか、それまでに日時が近づいてくるとかということが現実には起こっているのです。とにかくその辺の自覚はそれぞれ、議会改革でもお願いしたいと思つます。

江角委員長

今後、6月議会ということではなくて、やる方向として考えた場合に、

やっぱりどのように対応した方が良いかというところをもう少し、事務局の方でも。例えばFAXで送った人はきちんと連絡体制が取れるような方法を。もし連絡体制取れないというのであれば。整理の仕方をもう少し。事務局側としての整理もしておいてもらったら。

三浦局長

出来ないということではないです。前もって送られて色々やりとりが出来れば。

小川次長

余裕をもって出してもらいたいと。3、4人一度に11時ぎりぎりを持ってこられても、チェックする時間が無いというのが実際のところで。

江角委員長

締切がそうになっているから、いけないとは言えないけれど。

小川次長

あと、FAXで送られるのは良いのだけど、そうすると今度は抽選の形もちょっと変えないと。皆さんが本当に自分たちで抽選するから、順番が決まっても諦めが付くのか。任せて最後になって不満を言われるのも嫌だし。やっぱり自分で責任をもってくじ引きしたいのだという声が多いようだったら、抽選の時は皆さんに来てもらうというのを原則にして。その辺の論議も皆さんの意見を聞いてもらって、集約していただきたいと思えます。

平石委員

申合せ事項に、FAX及びメールによる提出は送信の直前に事務局へ電話連絡し、送信は締切日当日の午前9時までに完了するものとする。となっているのですが。FAX・メールは11時ではないのです。その前段はありますよ、議長が認める場合のみという。

三浦局長

認める場合のみです。

平石委員

認める場合というのが付いているのだけど。もし今後やっていくことになれば、9時というのを基本にしておかないと。ぎりぎりになったら大変なことが起きる。

江角委員長

でも持参してぱっと帰るのも一緒ですからね。それも含めて、いつになるかは別として、これも認めていくことを前提にしながら、また受け手の事務局や議長団側でも、こういったところを整理してもらわないと困るという点を踏まえて、もう少し事務的に整理するところがあれば提起してもらって、今後またそれを踏まえて議論するというところでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

それと、これの扱いですけども。

小川次長

先程から言いますように、執行部の方は下の項目と質問要旨がしっかり分かりさえすれば様式は問わないということもありますので、使いやすい方を使えしてもらえば良いというふうに、決めてもらえば良いかなと。中には、項目だけ書いておいて、詳細については読み原稿を全部付けられる議員さんおられますよね。それでも良いです、内容が分かれば良いのだから。訊かれる内容が分かりさえすれば良いので。

江角委員長

傍聴者には配らないのですよね。

小川次長

配りません。ただ質問項目だけは配ります。内容までは配りません。

江角委員長

それでは、徹底しなければ。これが使いやすいのだったら、知っている者だけが使いやすくなるようではいけないので。どうでしょうか、他の

議員さんへの周知は。周知しておいてどちらを使っても良いということなら良いですが。ここのメンバーだけの申合せではいけないので。

小川次長　　今回は、FAX・メールを次まで送ったので、様式もとりあえず次まで送って、6月議会はこれまでの様式を使ってもらうとか。

江角委員長　これはUSB等で持って帰るか。送信も出来ますか。

小川次長　　出来ます。メールで様式を送ってくれと言われればそれも出来ます。

江角委員長　では、これが良いということになれば、各会派の皆さんにも口頭でまず連絡してもらって。

小川次長　　この様式を送りますので、上から上書きしてもらえば。

佐々木委員長　様式というほどでもないのだな。

小川次長　　はい。受付日時、受付番号、発言番号、誰に対して答弁を求めて、質問内容があって、というただそれだけですので。

江角委員長　様式の変更なので、議運で確認だなんだということ無しに行きましょう。それで皆さんの会派で口頭連絡してもらって、送る方法は皆メールではいくのですか。

小川次長　　全員はいかないと思うので。

外浦係長　　FAXのみの方もおられます。

小川次長　　FAXのみの方で様式が欲しい方は、データを取りに来てください。

江角委員長　それではお知らせの文章と、書式の出し方を徹底してもらって、まず、出来ますよということを連絡して。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

西田委員　　字の大きさやら数はだいたい…。

小川次長　　全部、MSゴシックの12ポイントを使って打ってください。この様式に揃えてもらいます。

江角委員長　それでは6番の中の、通告書の様式については、そういう扱いとさせていただきます。

7. その他

その他ですが、何か皆さんからありますか。無いようでしたら、視察の件を説明してもらいます。

小川次長　　これは委員の皆さんにしか配っていませんが、行政視察の行程表、7月14日から15日の分、作ってみました。

(以下、行政視察の行程について説明)

江角委員長　はい。では次の日程を確認しておきたいと思います。

小川次長　　今度、6月議会は行革の特別委員会も入っているので、6月中の日程は難しいかと…6月議会中に相談させてもらって。

江角委員長　どこかで集まって、相談出来るところを作りたいと思います。では次は今決めずに、6月議会中に次の日程を皆さんと一緒に確認して決めたいと思います。では、以上をもちまして特別委員会を終わりたいと思います。ご苦労さまでした。

(閉議 14時 26分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

議会改革推進特別委員会 委員長 江角 敏和 ⑩